

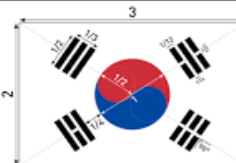
香芝市国際交流市民の会



グローバル香芝

The International Exchange Society, Global Kashiba

あの留学生は今……④ 金美蘭さん…韓国



「ママー！ママー！」毎朝 6 時、朝の静寂を破る子どもの大声が少し切なく聞こえます。毎朝 7 時に別れ、夜 6 時過ぎてから会えるママが恋しくて毎朝ママと同じ時間に起きたいという 4 歳の娘の声です。

私の一日は毎朝 5 時から始まります。朝ごはんやお弁当の支度、娘の登園準備をしてから自分も学校に行く用意をする、少し変わったママでもあり、大学院一回生でもあります。大学では、特別支援教育を専攻しており、幼児期で発達障がいのある子ども達への支援について研究しておりますが、あっという間に1年が経とうとしています。

障がいに対する見方を変えて 5 年。障がいは自分に関係のない他人事だと思っていた時期がありました。しかし、身内の人が病や事故に遭い、「一瞬にして障がいのある人になる」ことを目の当たりにしました。それをきっかけに、障がいのある人々とともに笑顔で生きていける社会は実に素晴らしいと思ったのです。その時、たった1つ気づいただけなのに、私の人生まで変わった気がします。周りの方や様々な出来事のお陰で、一步ずつ前へ進んで行けると思うと、ただただ感謝する日々が続きます。

今朝も相変わらず娘は私の背中に向けて、「ママ！5時に迎えに来てね！5時だよ！5時！5時！」と小さな手を力いっぱい広げて前に出します。そういう娘の切実な願いを心に留めて今日も大学へ向かいます。「ママ頑張るからね。サランヘヨ。行ってきます！」

※金美蘭さんは大教大芸術学部を交換留学でなく、学部生として2012年卒業なされ、その後結婚され、現在再び大教大大学院で特別支援教育を学び、スキルアップをなされている頑張屋さんです。

香芝市在住外国人数 27ヶ国 529名

2018年1月31日現在

アメリカ:10、イギリス:4、インド:2、インドネシア:8、オーストラリア:2、カナダ:2、韓国:238、ギリシャ:1、コスタリカ:1、スイス:1、シンガポール:1、タイ:8、台湾:18、中国:91、朝鮮:6、ネパール:16、パキスタン:10、ブラジル:16、フィリピン:34、フランス:1、ブルガリア:5、ベトナム:41、ペルー:1、ポーランド:1、ミャンマー:9、ルーマニア:1、ロシア:1

「市民フェスタ」→ 2017.11.05. (会員：竹谷清)

秋晴れの中、第22回香芝ふれあいフェスタにグローバル香芝(香芝市国際交流市民の会)も参加を致しました。私個人としては、入会後去年に続き2度目の参加となりました。去年は寒風の吹く中、非常に寒い寒いフェスタとなり予定していたコーヒーも大盛況の中、早々に完売。今年10月の週末は、台風が来るやら秋雨前線が張り出すやらで毎週末が『雨』。。そんな中、開催当日は秋晴れも秋晴れ！！ 来場客の中には、半袖の上着を着て居られる方も見掛ける程の好天気。代表の小椋さんは、『晴れ女』と私の中では確信になってきました。(笑) 55団体の出店ブースとステージでの出演披露で約3万人の集客イベント。これも22回という継続した香芝市の取組みと協賛団体の協力の成果。回数が歴史となり、地域と共に育つ！ 私もグローバル香芝も益々、歴史を繋げて地域と共に育てればと感じました。皆様、お疲れ様でした。 来年のお弁当もお任せ下さい。(笑)

「秋期ホストファミリー」→ 2017.11.18. (会員：西川)

11月18日(土)午後、香芝市中央公民館で秋季ホストファミリー交流会を開きました。参加者は大阪教育大学の留学生29名と受け入れのホストファミリー38名でした。今回、希望の留学生が多かったですが、ホストは初参加の方から、何人もの受け入れを経験された方まで、たくさんの方のご協力を得ることができました。事前のマッチングでホストの方には、留学生の名前や出身国・趣味など簡単な紹介の連絡がありますが、皆さん、どんな学生がくるのだろうとドキドキしたり、どんなもてなしをすればよいのだろうと、いろいろ考えておられたのではないかと思います。私もお一人紹介頂きながら、日本文化や芸術に通じているわけでもなく、どんなことができるかな、と思いましたが、まずはいろいろお話してみてもいい範囲で接しようと思うことにしました。当日は、留学生の皆さんは初々しく日本語で自己紹介され、ホストファミリーが誰か判ると、とても嬉しそうで、その後の会話もはずんでいたようでした。私も中国人の女の子を家に招いて、私の娘も一緒におしゃべりしました。「日本語の『なんか』や『ちゃんと』とはどんな意味？」と尋ねられ、改めて日本語について考えることもありました。とにかくバイタリティがあって勉強熱心でとてもしっかりした学生さんでした。彼女たちを見習いつつ、自分も頑張ろうと思え、いい出会いになったと思います。

「国際交流の集い」→ 2017.12.09. (会員：島井)

仕事も落ち着き、私も人にしていただきたいことは世の中に返していかなければと思い、最近入会しました。

グローバル香芝はホームステイの受け入れなどを通し、国際貢献している団体です。12月はいろいろな国の留学生にブースに座っていただき、それぞれの国の歴史や地理など説明していただき、日本に住んでみてどのように感じるかなど語っていただきました。

私が行ったブースは中国のブースで、元気で明るい中国の留学生の方に対応していただきました。日本ではコンビニでバイトをなさっているそうです。慣れるまで大変だっただろうなあと思いつつ、中国の方は明るく逞しい方が多いので大丈夫かなとも思いました。アンケートを書くと、もれなく小さなプレゼントがついてきて、みんなでなかなか工夫もされて企画されていました。恒例の行事ですので、読者の皆様もぜひ次回、お子様とご一緒にいらして下さい。



その他イベント 「国際料理教室」 → 2017. 11. 20.

「日本語勉強会」 → 2018. 01. 20.

「智辯学園奈良カレッジ高等部国際理解学習」→ 2018.01.27. (会員：小椋)

昨年度から始めた高校1年生の人権HRでの国際理解学習が1月27日(土)に行われました。

全体会の後、4つの分科会に分かれ生徒の皆さんと膝を突き合わせ、国の紹介を始め留学や国際結婚など熱い質疑が交わされました。授業後の感想の一部を紹介します。

(第1分科会)——「日本で日本人の嫁として暮らすとすること」

野口 ジョン さん(シンガポール女性)

- ・日本人は、「はい。いいえ。」をはっきり言わず曖昧な返事をする人が多いと思います。「どっちでもいい。」という言葉は逆に相手を困らせてしまうんだと思います。返事は言いたいことをはっきり言うようにしたいです。

(第2分科会)——「外国人と暮らすとすること(国際結婚)」

小椋 晴美 さん (日本女性)

- ・最後の「一番伝えたいこと」で、自分の考える常識が世界的に見て「常識」ではないということが心に響きました。日本人同士でも「自分の常識」を押し付けないと言われますが、日本語が通じる分少しは我儘を言えます。

外国人との会話となると英語を上手く使えなくてはケンカになるかも知れません。自分の常識は世界の常識ではない。」を、考えて生活していこうと思います。

(第3分科会)——「外国人として日本で暮らすこと(留学・自分の進路)」

金 美麗 さん (韓国女性)

- ・話の中で自分が当たり前と思っていたものが実はそうではなかったと感じるところが多々ありました。私がとても大事だと思ったことは「自分のしたいことに挑戦出来る」ということはすごく良いことで、そういう環境にいることに感謝しなければいけない。」ということです。やりたいことでもできないことはある。ことを知り、何でもできるという今の自分がとてもありがたく思えました。

(第4分科会)——「キルギスについて(日本への留学)」

アサンカリエフ ダスタン さん(キルギス男性)

- ・世界は狭くなった。と言われていています。しかし、その分視野が広くなりうると言うことです。遠い異国の事だから私達には関係ないと、割り切ることは容易ですが、いくら物理的な距離があると言っても、何かしらの影響を与え、受けていることは確かでしょう。自国と切り離して考えないことで、より良い国際人になっていけるのかも知れない。



「日本文化を楽しむ」→ 2018.02.03. (会員：長谷部)

2月3日(土)グローバル香芝恒例の「日本文化を楽しむ集い」が今年も二上文化センターに於いて35名の留学生と共に行われました。今年は例年になく寒さが厳しい日が続いていましたが、そんな中を早朝から箏曲や茶道、着付けや折り紙の各先生方のご協力を得て、日本の伝統文化を留学生のみなさんと共に体験することができました。

初めに男子留学生5名は紋付き袴、女子留学生30名は振袖にそれぞれ着付けていただきました。インド、中国、ミャンマー、ハンガリー、台湾、タイ他、色々な国からの留学生ですが、袴姿も振袖姿もとても素晴らしく、その場の空気は一気に日本文化の華やいだものになりました。また、それぞれのボランティアの方々と写真を撮ったり、留学生同士で写真を撮り合ったりと、とても喜んでいる様子が伝わる和やかな雰囲気になりました。その後、お琴の演奏を聞いたり実際に弾いてみたり、また茶道によるお点前の体験は、私たちも留学生と共に席に座って一緒に体験しました。平日頃日本文化に触れる機会が少なくなっている昨今ですので、私もワクワクしました。その後着替えて、南京玉すだれの楽しい講釈や折り紙体験をしました。奇しくも当日は節分の日でもあったので、恵方巻きを食べるという体験もしてもらいました。全員が恵方に向かって無言で恵方巻を丸かぶりする体験は、留学生にも面白い体験だったようです。私は今年初めて参加させていただきましたが、多くの国の留学生のみなさんとボランティアのみなさんと一緒に日本の文化を通して素晴らしい体験ができました。本当に楽しい一日になりました。



ーメンバーひとりごと 59ー

” お母さん、もっと若い子と付き合わんと～
夢と希望っていうエネルギーもらえるんよ “

梅崎 まつ子

結婚してスウェーデンで日本語講師をしている娘に背中を押される。
調べるとグローバル香芝という団体があり、創立 20 周年という良き年でもありました。
初めての行事は、「日本文化を楽しむ集い」でした。
多くの留学生が、男子は羽織、袴、女子は振袖、多くの着付けの先生方に、着せてもらい
これまたお茶の先生の指導のもと、お抹茶の接待を受けます。
優雅にお琴の演奏を聴きながら、なんと留学生の晴れやかな笑顔だったでしょうか！
そのたくさんの笑顔が見れた私も、どんなに嬉しかったでしょうか！
娘の言う“夢と希望”のエネルギーってこれなんだって……
陰で支えておられた先生方や、グローバルの会員の方々のキビキビした行動にも、心動かされました。
グローバル香芝のモットー
ひとりひとりが“出来る事を、出来る時に、出来る範囲で、”
あなたも、エネルギーをもらいに、ご一緒しませんか！！

* 次回は、安国 美希 さんです。

◆◆ “グローバル香芝” 入会のご案内 ◆◆

香芝市の国際交流に参加できる個人や団体で国際交流に興味をお持ちの方、私達と一緒に活動しませんか。
語学力や国籍に関係なくどなたでも入会することができます。

<会費> 個人会員 年間 3,000 円 / 賛助会員 (団体) 年間 10,000 円

<月例会> 10:00～12:00 香芝市中央公民館 3/21(水), 4/18(水), 5/16(水), 6/20(水), 7/18(水),
8/22(水)

◆ 申し込み・問い合わせ先

香芝市役所・市民協働課内事務局 (Tel:0745-76-2001 内線 171, Fax:78-3830)

グローバル香芝:小椋 宏子(Tel:0745-78-3398)

e-mail: nijosan3231@global-kashiba.matrix.jp までお気軽にどうぞ!

◆ ホームページアドレス <https://global-kashiba.mahoroba.club/>

編集発行 : グローバル香芝・広報部会
事務局 : 〒639-0292 香芝市本町 1397 香芝市役所 市民協働課
Tel:0745-76-2001(内線 171) Fax:0745-78-3830